

## 理想の議会報づくりを

### 目指して

平素は、佐渡市「議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。ご愛読ありがとうございます。

さて、近年における情報公開の重要性は言うまでもなく、当市議会にあっても、市民に開かれた議会であればなりません。議会報を

発行する意義もこの点にあるわけですが、単に議会の「お知らせ」広報にとどまることなく、議会・執行部の姿勢あるいは問題意識を市民の皆様にお示しすることが

大事であると考えています。また、「議会だより」というありふれたタイトルの中にも、見る人にとって新鮮味を感じる議会報にできたらと考えています。

新委員一同、理想の議会報づくりを目指して一層の研鑽を積んでまいりますので、今後とも佐渡市「議会だより」をご愛読くださるようお願い申し上げます。

議会報編集特別委員会

委員長 松本展国



## 傍聴のしくみ

◆ 馴れ合いの問答を排してもらいたい。議員は積極的に提言すべし。市長及び職員は提言を検討し、実行に移すべし。

◆ 質問内容のダブリが多い。時間のむだである。整理してコンパクトな質疑に。

◆ 議会に提案され、質疑した事項で行政側が対応を検討すべき内容のものがあるが、ほとんど処理されていないような

気がする。言いつばなしなのが現実では。

◆ 一般質問の内容があまりにもコンパクトすぎる。もっと詳しく載せてほしい。各委員会の行政視察の行き先(期間)とその成果など詳しく載せてください。

定例会ごとに、傍聴席入り口にアンケート用紙を設置します。ご意見・ご要望をお寄せください。



**訂正**  
前号の26ページ中「次世代育成支援行動改革作成委員会」は「次世代育成支援行動計画作成委員会」29ページ中「行政組織規制」は「行政組織規則」の誤りで、28ページ最終行の「れるよう申し入れる。」が欠落していました。

## 編集後記

新緑が眩しく感じられる季節になりました。市民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

佐渡市議会は、議長、副議長、各常任委員会、特別委員会の構成も変わり、当広報委員会も新人5人を含め、10人のスタッフで「生き生きとした議会だよりを市民の皆様へ伝えよう！」を合言葉にスタートいたしました。

さて、議会の使命は市民の声を的確に行政へ反映させ、行政との両輪でなければなりません。住民本位を基本に市民の生命と財産を守り、安心・安全に暮らせるまちづくりを確立。そして次世代の子どもたちが「生まれ住んで良かった」と言ってもらえるような新生佐渡市を市民の皆様と構築することが、今、われわれに与えられた責務と考えます。